

製品名: PD-L1 (CD274) (5R18) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15922**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	CD274
別名	B7-H; B7H1; PD-L1; PDCD1L1; PDCD1LG1; PDL1; CD274;
遺伝子 ID	29126.0
SwissProt ID	Q9NZQ7
免疫原	ヒト PD-L1 の合成ペプチド

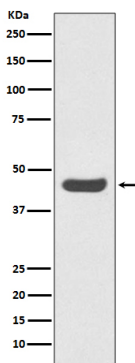
背景

プログラム細胞死リガンド 1 (CD274、または B7-H1、PD-L1) は、B7 ファミリーで初めて発見されたメンバーです。B7 ファミリー分子は、免疫グロブリンスーパーファミリーに属する I 型膜貫通タンパク質です。CD28 ファミリー受容体と協調して、B7 は獲得免疫応答の重要な調節因子として機能します。CD274 は T 細胞および B 細胞の負の調節因子であると考えられており、リンパ球の自己抗原に対する寛容を媒介する上で重要な役割を果たします。自己免疫寛容の誘導と維持において極めて重要な役割を果たします (PubMed:11015443、PubMed:28813417、PubMed:28813410)。阻害性受容体 PDCD1/PD-1 のリガンドとして、T 細胞の活性化閾値を調節し、T 細胞エフェクター応答を制限します (PubMed:11015443、PubMed:28813417、PubMed:28813410)。未知の活性化受容体を介して、主にインターロイキン -10 (IL10) を産生する T 細胞サブセットを共刺激する可能性がある (PubMed:10581077)。

研究分野

細胞接着分子 (CAM)

画像データ



Ramos 細胞溶解物中の PD-L1 (CD274) 発現のウェスタン ブロット解析。